

(2016年度)

5 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は18ページ，4問である。)

受験についての注意

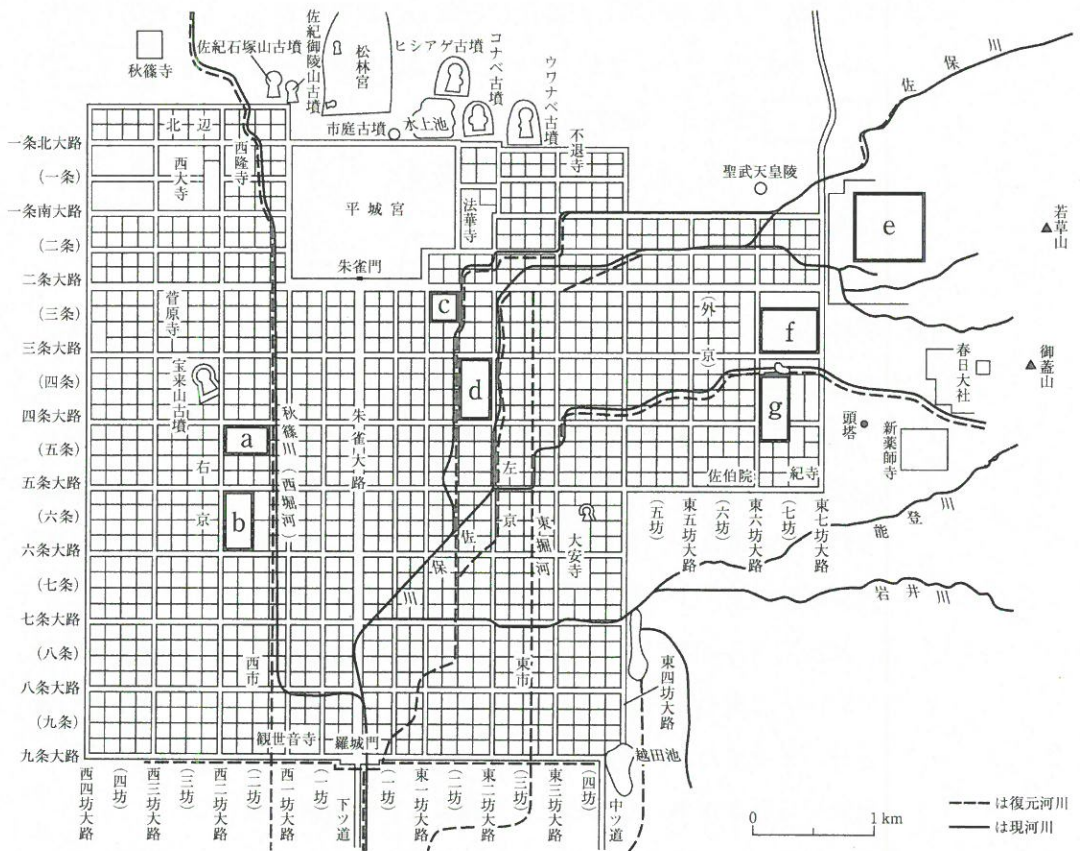
1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次の史料Aは、長屋王の祟りについて描いた『日本靈異記』収録の説話、そのあとの地図は、平城京図である。史料をよく読んで、地図を参照しながら、あとの問いに答えなさい。

【史料A】『日本靈異記』中巻第1縁

諾楽の宮に宇の大八嶋国御めたまひし勝宝応真聖武太上天皇、大誓願を發したまひ、天平元年己巳の春二月八日に、左京の元興寺にして大法会を備けて、
(a) 三宝を供養したまひき。太政大臣正二位長屋 [] に勅して、衆僧に供する司を任けたまふ。時に一の沙弥有り。濫しく供養を盛る処に就きて、鉢を捧げて飯を受けたり。[] 之を見て、牙冊を以て沙弥の頭を罰つ。頭破れて血を流す。沙弥頭を摩で、血を捫ひて、恠み哭きて、忽ちに覩えず。去れる所を知らず。時に法会の衆、道俗、偷にささめきて言はく、「凶し、善くはあらず」といふ。之を二日経て、嫉妬する人有りて、天皇に讒ぢて奏さく、「長屋、社稷を傾けむことを謀り、国位を奪らむとす」とまうす。爰に天心に瞋怒りたまひ、軍兵を遣はして陳ふ。[] 自ら念へらく、「罪無くして凶執はる。此れ決定して死ぬるならむ。他の為に刑ち殺されむよりは、自ら死なむには如かじ」とおもへり。則ち、其の子孫に毒薬を服せしめ、絞り殺し畢りて後に、[]、薬を服して自害したまふ。天皇、勅して、彼の屍骸を城の外に捨てて、焼き末き、河に散らし、海に擲てつ。唯し [] の骨は土左国に流しつ。時に其の国の百姓に死ぬるひと多し。云に百姓患へて官に解して言さく、
(d) [] の氣に依りて、国の内の百姓皆死に亡すべし」とまうす。天皇、聞して、皇都に近づけむが為に、
(e) 紀伊国海部郡の椒抄の奥の嶋に置きたまふ。……

○沙弥…本来は出家して十戒を守る仏弟子の意味だが、日本では私度僧なども含む。○濫しく…不謹慎にも。○牙冊…象牙製の笏。○社稷……「社」は土地の神、「稷」は五穀の神だが、ここでは国家のことを指す。



【地図】 平城京図(佐藤信編『日本の時代史4 律令国家と天平文化』吉川弘文館, 2002年, 114~115頁, 一部改変)

問1 史料Aに関する次の問いについて、地図を参照しながら答えなさい。

(1) 『日本霊異記』の作者は誰か。次の中から、もっとも適切なものを1人選びなさい。

- ① 行基 ② 道慈 ③ 玄防 ④ 景戒 ⑤ 道鏡

(2) (1)で選んだ人物が所属した寺院はどれか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。また、その寺院のある場所を、地図上の a ~ g から1つ選びなさい。

- ① 元興寺 ② 興福寺 ③ 唐招提寺 ④ 薬師寺
⑤ 東大寺

(3) 史料Aの内容を正確に要約している文章はどれか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- ① 長屋王は、元興寺の法会において沙弥を打ったことでその沙弥の崇りを受け、謀叛の罪を讒言されて自殺した。聖武天皇は長屋王の死体を焼き砕いて捨てたが、骨のみ土佐国へ流したところ、同国の百姓に多く死人が出たので、より都に近い紀伊国へ移した。
- ② 長屋王は、元興寺の法会において沙弥を打ったことでその沙弥の怒りを買って、謀叛の罪を讒言されて自殺した。聖武天皇は長屋王の死体を焼き砕いて捨てたが、骨のみ土佐国へ流したところ、同国の百姓に謀叛に同調する動きがあったため、より都に近い紀伊国へ移した。
- ③ 長屋王は、元興寺の法会において沙弥を打ったことでその罪業の報いを受け、謀叛の罪を讒言されて自殺した。聖武天皇は長屋王の死体を焼き砕いて捨てさせたが、骨のみ土佐国へ流したところ、同国の百姓に多く死人が出たので、より都に近い紀伊国へ移した。
- ④ 長屋王は、元興寺の法会において沙弥を打ったことで仏罰を被り、謀叛の計画を暴露されて自殺した。聖武天皇は長屋王の死体を焼き砕いて捨てたが、頭蓋骨のみ土佐国へ流したところ、同国の百姓に多く死人が出たので、より都に近い紀伊国へ移した。
- ⑤ 長屋王は、元興寺の法会において沙弥を打ったことで百姓から憎まれ、謀叛の罪を讒言されて自殺した。聖武天皇は長屋王の死体を焼き砕いて捨てたが、骨のみ土佐国へ流したところ、同国の百姓がこれを損壊したため、より都に近い紀伊国へ移した。

(4) 下線部(a)の「元興寺」について、正しく説明した文章はどれか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。また、その寺院のある場所を、地図上の ～ から1つ選びなさい。

- ① もととの起源である舒明天皇創建の百濟大寺は、奈良県桜井市で発掘された吉備池廃寺に比定されている。
- ② 当時の僧坊の一部が、極楽坊として現存している。
- ③ もともとは、天武天皇が皇后の病氣平癒を祈り、藤原京に創建した。
- ④ 総国分寺とも称され、仏教の鎮護国家の思想を具現化した寺院である。
- ⑤ 藤原鎌足の私寺山階寺が前身で、藤原不比等により奈良に移された。

(5) 下線部(b)の「三宝」について、正しく説明した文章はどれか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- ① 天皇・皇后・皇太子を、国の宝として尊称したもの。
- ② 天皇の即位を証す三種の神器を指す。
- ③ 亡父・亡母・先王のことで、供養すべき大恩のある両親・君主を指す。
- ④ 如来・菩薩・天部の、仏教的神格を指す。
- ⑤ 仏・法・僧のことで、転じて仏教を指す。

(6) 史料Aの文章中 で伏せられている部分は、すべて長屋王に対する称号が入るが、これは長屋王邸跡が発掘され同様の表記を持った木簡が出土するまで、説話集ゆえの誤りとみなされていた。それはどのような称号か、次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。また、長屋王邸のあった場所を、地図上の ～ から1つ選びなさい。

- ① 大王 ② 天皇 ③ 皇帝 ④ 新皇 ⑤ 親王

(7) (6)と同じように、木簡の出土によって学問上の論争に決着が付いた事例はどれか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- ① 吉備真備や阿倍仲麻呂らとともに入唐した遣唐使に、日本側の記録にない「井真成」なる人物のいることが明らかになった。
- ② 飛鳥浄御原令制では、行政区画のコホリを「郡」ではなく「評」と表記しており、前者を採る『日本書紀』の記述に、大宝令以降の知識に基づく潤色のあることが明らかになった。
- ③ 「獲加多支鹵大王」と刻まれた名前が、『宋書』に載る倭の五王のひとり武，すなわち雄略天皇であることが確かめられた。
- ④ 東大寺に献納された厩大な写経の紙背に、奈良時代の行政文書が大量に残っていることが確認された。
- ⑤ 漆が染みこむことで、一部損壊を免れた文書が、多賀城跡で初めて発見された。

(8) 下線部(c)の「土左(佐)国」、下線部(e)の「紀伊国」は、それぞれ現在の何県に当たるか。次の中から、適切なものを選びなさい。なお、国が複数の県に及んでいる場合には、すべての記号をマークしなさい。

- ① 岡山県 ② 高知県 ③ 神奈川県 ④ 和歌山県
- ⑤ 奈良県 ⑥ 三重県 ⑦ 兵庫県 ⑧ 滋賀県

(9) 下線部(d)の「百姓」は、時代によって意味する内容が異なるが、この場合は具体的に何を意味するか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- ① 奴婢 ② 農民 ③ 官人 ④ 豪族 ⑤ 公民

問2 次の短文(1)~(10)は、地図上の ~ いずれかについて説明したものである。それぞれどの場所についての説明であるか、もっとも適切なものを ~ から1つずつ選びなさい。なお、同じ記号を何度使ってもよい。

- (1) この場所に住んだ人物は、光明皇太后の信任を得て、その輔弼に当たる皇后宮職を改編した紫微中台の長官となった。
- (2) この場所にある寺院の戒壇は、唐から招かれた鑑真によって設けられ、聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇らに授戒がなされた。
- (3) この場所にある寺院に安置された仏像としては、阿修羅像を含む八部衆像が有名である。
- (4) この場所に住んだ人物は、藤原四子と対立し、謀叛の疑いをかけられて自殺させられた。
- (5) この場所にある寺院の境内には、校倉造で知られる、聖武太上天皇の遺品を納めた建物がある。
- (6) この場所にある寺院の前身は、蘇我氏が創建した日本初の本格的伽藍寺院、飛鳥寺である。
- (7) この場所に住んだ人物は、孝謙太上天皇の寵愛を受けた僧道鏡を除こうとして乱を起こした。
- (8) この場所にある寺院の初代別当となった良弁は、宮廷に華嚴宗を説き大仏の造立へ結び付けた。
- (9) この場所にある寺院の講堂は、平城宮の朝集殿を移築したもので、平城宮現存唯一の遺構である。
- (10) この場所にある寺院を創建した人物については、淡海三船が詳しい伝記を残している。

問3 平城京を、前代の藤原京、次代の長岡京・平安京と比較した場合、その特徴はどのような点にあるか。次の短文①～⑤のうち、平城京のみの特徴といえるものを2つ選び出さない。

- ① 唐の長安城に倣って設計された。
- ② 低湿地の右京は早くに衰え、高燥な左京が発展した。
- ③ 中国の都城と異なり、京城を取り囲む城壁(羅城)がほとんど存在しない。
- ④ 後に、壬生門を入った宮城東側にも朝堂院が建てられ、その北には大極殿、内裏が位置した。
- ⑤ 外京と呼ばれる、左京から春日山麓へ延長された街区が存在する。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。ただし、文中には一部空欄になっているところがあるので、歴史的に正しく補って読むこと。

1336年にいわゆる建武政府が瓦解し、1573年の室町幕府滅亡までの約240年間を、一般的に室町時代と称するが、その期間の前の部分にあたる1392年の南北朝合体期までを南北朝時代と呼び、後代の(ア)年に始まった応仁の乱以後について、便宜的に戦国時代と称する場合もある。南北朝合一に力のあったのが足利三代将軍・義満で、時期を前後して有力守護の山名(イ)^(a)や大内(ウ)^(b)の排除にも成功し、幕府の安定化を図った。

この時期の文化は、基本的には武家文化に分類されるが、前代の鎌倉期のものと比較して、身近な京都の伝統的な公家文化と成熟した禅宗の新文化を積極的に吸収した新しい段階に到達していたと考えられる。室町時代の文化は、大まかな時代順に南北朝文化、(エ)と歴史的に継承され、後の日本文化の基調となって現代に至っているが、ここでは、その最初となる南北朝文化についてももう少し詳しく考えてみよう。

この時期の文化の特色は、前代にも増した東アジアとの交流を通じて、大陸の文化と日本の伝統文化が、中央と地方を通じて公家文化と武家文化とともにそれぞれ融合し、広い領域で形成されていったことは特筆されねばならない。具体例

を挙げると、歴史書では、いわゆる「四鏡」の最後にあたる(オ)や南朝側からの正統性を論じた(カ)の(キ)や、幕府側の視点といえる(ク)のほか、動乱の全体像を活写した(ケ)が著されており、(カ)の(コ)も故実書分野で見逃せない著述である。

建築や庭園などでは、1352年の建立とされる(サ)や枯山水庭園と池泉回遊式庭園を組み合わせた(シ)^(c)庭園や嵐山を借景に据えた(ス)庭園をまず挙げるべきであろう。三者は、いずれも(セ)との関係が指摘されている。他方、同時期の代表的絵画では、(ソ)の『寒山図』もよく知られている。

文学や芸術論においても、注目すべき著作は少なくないが、(タ)による(チ)や、同じ分野の規則書などが代表的なもので、協力者として救済の名前があげられている。他方、(タ)は前掲した(オ)の作者にも擬されており、この時代を代表する文化人であったといえよう。他にも、日本最古の『論語』印刷本(ツ)なども目につくし、有職故実関連では、後醍醐天皇に帰せられる(テ)も記憶されるべき存在である。総じて南北朝の文化は、比較的短期間に形成されているものの、その後代への影響については決して等閑視すべきでは無い。

問1 文中の空欄(ア)～(テ)について、それぞれ歴史的にもっとも適切な語句を1つずつ選びなさい。

- (ア) ① 1465 ② 1466 ③ 1467 ④ 1468 ⑤ 1469
 ⑥ 1470
- (イ) ① 氏勝 ② 氏清 ③ 氏盛 ④ 氏高 ⑤ 氏仁
 ⑥ 氏重
- (ウ) ① 義高 ② 義正 ③ 義竜 ④ 義尊 ⑤ 義弘
 ⑥ 義興

- (エ) ① 東山文化, 次いで西山文化
 ② 西山文化, 次いで北山文化
 ③ 南山文化, 次いで西山文化
 ④ 北山文化, 次いで東山文化
 ⑤ 南山文化, 次いで北山文化
 ⑥ 東山文化, 次いで南山文化
- (オ) ① 『大鏡』 ② 『増鏡』 ③ 『東鏡』 ④ 『夢鏡』
 ⑤ 『水鏡』 ⑥ 『千代鏡』
- (カ) ① 北畠親房 ② 後醍醐天皇 ③ 今川了俊
 ④ 高師直 ⑤ 後小松天皇 ⑥ 楠木正行
- (キ) ① 『兵範記』 ② 『古事談』 ③ 『難太平記』
 ④ 『水左記』 ⑤ 『神皇正統記』 ⑥ 『梅松論』
- (ク) ① 『梅松論』 ② 『十住心論』 ③ 『文鏡秘府論』
 ④ 『拾遺愚草』 ⑤ 『釈日本紀』 ⑥ 『扶桑略記』
- (ケ) ① 『新太平記』 ② 『太平記』 ③ 『統太平記』
 ④ 『難太平記』 ⑤ 『太平記拾遺』 ⑥ 『太平御覽』
- (コ) ① 『古事談』 ② 『職原抄』 ③ 『稽古談』
 ④ 『古今伝授』 ⑤ 『愚管抄』 ⑥ 『元亨釈書』
- (サ) ① 興福寺五重塔 ② 石山寺多宝塔 ③ 蓮華王院本堂
 ④ 観心寺金堂 ⑤ 永保寺開山堂 ⑥ 鹿苑寺金閣
- (シ) ① 毛越寺 ② 西本願寺 ③ 東福寺 ④ 大徳寺
 ⑤ 相国寺 ⑥ 西芳寺
- (ス) ① 万寿寺 ② 建仁寺 ③ 天龍寺 ④ 喜多院
 ⑤ 建長寺 ⑥ 称名寺
- (セ) ① 無学祖元 ② 夢窓疎石 ③ 蘭溪道隆
 ④ 義堂周信 ⑤ 雪舟等楊 ⑥ 雪村友梅
- (ソ) ① 如拙 ② 明兆 ③ 雪舟 ④ 可翁 ⑤ 若冲
 ⑥ 雪村

- (タ) ① 東常縁 ② 二条良基 ③ 三条西実隆
 ④ 四辻善成 ⑤ 荒木田守武 ⑥ 一条兼良
- (チ) ① 『応安新式』 ② 『節用集』 ③ 『庭訓往来』
 ④ 『稽古談』 ⑤ 『菟玖波集』 ⑥ 『禁秘抄』
- (ツ) ① 『正平版論語』 ② 『兼好版論語』 ③ 『五山版論語』
 ④ 『建武版論語』 ⑤ 『今川版論語』 ⑥ 『烏丸版論語』
- (テ) ① 『元弘年中行事』 ② 『建武年中行事』
 ③ 『延元年中行事』 ④ 『暦応年中行事』
 ⑤ 『康永年中行事』 ⑥ 『観応年中行事』

問 2 文中の下線部(a)~(c)について、次の問いに答えなさい。

(A) 下線部(a)の人物が排除された事件は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 嘉吉の乱 ② 永享の乱 ③ 明德の乱 ④ 応永の乱
 ⑤ 享徳の乱 ⑥ 明応の乱

(B) (A)の事件は西暦何年に起こったか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 1387年 ② 1388年 ③ 1389年 ④ 1390年 ⑤ 1391年
 ⑥ 1392年

(C) 下線部(b)の人物が排除された事件は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 嘉吉の乱 ② 永享の乱 ③ 明德の乱 ④ 応永の乱
 ⑤ 享徳の乱 ⑥ 明応の乱

(D) (C)の事件は西暦何年に起こったか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 1395年 ② 1396年 ③ 1397年 ④ 1398年 ⑤ 1399年
 ⑥ 1400年

(E) 下線部(c)の建築はどこに現存するか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 山口県 ② 京都府 ③ 和歌山県 ④ 三重県
⑤ 愛知県 ⑥ 岐阜県

(F) (サ)の建築は、どの建築様式で建てられているか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 大仏様 ② 念仏様 ③ 折衷様 ④ 和様 ⑤ 禅宗様
⑥ 浄土様

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

茶の湯は、信長や秀吉らの保護を受けてさかんになった。なかでも(A)は、簡素を尊ぶ茶の様式を大成した。茶の湯の流行とともに、茶器や茶室、庭園などにもすぐれたものが生まれ、茶道に華道や香道なども発達した。また、西国大名が朝鮮から連れ帰り、そのうち肥前に赴いた(B)によって創始された(C)は、後に(D)の赤絵で一層発展した。さらに薩摩へ赴いた(E)らの陶工によって、当地でも陶器の分野で発展がみられた。

問1 文中の空欄(A)～(E)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 以心崇伝 ② 沈寿官 ③ 高山右近 ④ 蒲生氏郷
⑤ 王直 ⑥ 李參平 ⑦ 千利休 ⑧ 細川幽斎
⑨ 李舜臣 ⑩ 白磁 ⑪ 天海 ⑫ 墨絵
⑬ 楽焼 ⑭ 古田織部 ⑮ 酒井田柿右衛門

問2 「茶の湯」について以下の問いに答えなさい。

(1) 茶の湯の元となる喫茶は、もともと仏教の修行の一つとして始められた。12世紀に南宋から伝えられ、修行の中で喫茶を重視していたのは何という宗派か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 曹洞宗 ② 黄檗宗 ③ 浄土宗 ④ 真言宗 ⑤ 臨済宗

(2) 15世紀後半に、簡素で落ち着いた寂しい感じを意味する雰囲気の中で営まれる茶の湯を創始した人物は次のうちの誰か。

- ① 狩野正信 ② 村田珠光 ③ 武野紹鷗 ④ 古田織部
⑤ 池坊専慶

(3) 次の文章は、空欄(A)の人物について説明したものである。文中の下線部(a)～(e)のうち、誤っているのはどれか。1つ選びなさい。また、それにかわる適切な語句を、あとの語群①～⑩から1つ選びなさい。

堺の豪商の出身で、草庵茶室と侘び茶を完成した。その茶室の遺構としては、京都府大山崎の修学院離宮待庵とよばれる、単層切妻の簡素な2畳の茶室がある。秀吉の北野大茶湯を主管したが、1591年、大徳寺山門上に自分の木像をおいたことから秀吉の怒りにふれ、自刃した。

〔語群〕

- ① 1590年 ② 1592年 ③ 南禅寺 ④ 建仁寺
⑤ 追放となった ⑥ 火刑となった ⑦ 吉野 ⑧ 東山
⑨ 妙喜庵 ⑩ 慈照寺

- (4) 次の文章の空欄(あ)～(か)に入る適切な語句を、あとの語群から1つずつ選びなさい。

茶道は(A)によって大成された後、その弟子たちに継承され、千宗左を祖とする(あ)、千宗室を祖とする(い)、千宗守を祖とする(う)といった系譜が今日に至っている。堺の町衆には、天王寺屋の屋号をもつ(え)や信長の信頼を得て堺五箇荘代官となった(お)などの茶人がいた。また、博多商人の茶人として有名なのは、秀吉から信頼され名護屋で商いを許された(か)である。

[語群]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① 角倉了以 | ② 高山右近 | ③ 高野長英 |
| ④ 神屋宗湛 | ⑤ 細川忠興 | ⑥ 小堀遠州 |
| ⑦ 今井宗久 | ⑧ 裏千家 | ⑨ 織田有楽斎 |
| ⑩ 表千家 | ⑪ 古田織部 | ⑫ 武者小路千家 |
| ⑬ 大友宗麟 | ⑭ 沢庵宗彭 | ⑮ 小西隆佐 |
| ⑯ 末吉孫左衛門 | ⑰ 納屋助左衛門 | ⑱ 本阿弥光悦 |
| ⑲ 津田宗及 | ⑳ 末次平蔵 | |

問3 次の文章は、都市と町衆について説明したものである。文中の空欄(ア)～(サ)に入る適切な語句をあとの語群から1つずつ選びなさい。

都市のなかには、富裕な商工業者である町衆を中心とした自治的団体である町が生まれた。町はそれぞれ独自の町法を定め、住民の生活や営業活動を守った。京都でも、有徳人などとよばれた金融業者の(ア)や酒屋などの商人が中心になって町衆の文化が育った。町が集まって町組という組織がつくられ、さらに複数の町組が集まって、公家・武家が多い上京と商工業者の町である下京という大きな惣町が形成され、上京と下京は(イ)通りでむすばれていた。町組は、町衆のなかから選ばれた(ウ)によって自治的に運営され、応仁の乱で荒廃した京都は、これらの町衆によって復興され、御霊会として行われていた(エ)祭も、町衆たちの祭として再興された。その経済力は近世にも衰えることはなく、嵯峨の(ア)出身で、朱印船貿易に従事し、水路の開発にも貢献した(オ)や、幕府の呉服を扱い朱印船貿易でも活躍した茶屋四郎次郎などが出た。

日明貿易や南蛮貿易で繁栄した堺は、戦国期の記録によれば(カ)人の(キ)による自治が行われ、平和で自由な都市として宣教師(ク)の書簡にも登場する。信長から軍費2万貫を要求され拒否したが、のちに屈服し、秀吉により大坂城とその城下町が建設されると、商人たちは移住を命じられ、衰微した。

堺と同じく、日明貿易の根拠地としてさかえた博多も、年行司とよばれる(ケ)人の豪商が、月ごとの輪番で町政を運営し、自治都市として栄えた。

摂津国の平野も、平安末期より市町が発達し、室町時代には堺と並ぶ自由都市として、南蛮貿易や朱印船貿易で栄えた。ここは(コ)人の豪商が町政の運営にあたった。のちに信長の直轄地となったが、家康の命で銀座の創設に尽力し、朱印船貿易でも活躍した豪商(サ)を輩出した。

[語群]

- | | | | |
|---------------|-------------|--------|-------|
| ① フランシスコ=ザビエル | ② ガスパル=ヴィレラ | | |
| ③ ルイス=フロイス | ④ 室町 | ⑤ 祇園 | |
| ⑥ 末吉孫左衛門 | ⑦ 末次平藏 | ⑧ 会合衆 | ⑨ 四条 |
| ⑩ 住吉 | ⑪ 葵 | ⑫ 問屋 | ⑬ 年寄衆 |
| ⑭ 角倉了以 | ⑮ 木屋町 | ⑯ 土倉 | ⑰ 連雀 |
| ⑱ 月行事 | ⑲ 今井宗久 | ⑳ 今井宗薫 | ㉑ 7 |
| ㉒ 9 | ㉓ 10 | ㉔ 12 | ㉕ 14 |
| ㉖ 16 | ㉗ 18 | ㉘ 24 | ㉙ 26 |
| ㉚ 36 | | | |

4 次の問いに答えなさい。

問1 次の文章の空欄(ア)～(コ)に当てはまるもっとも適切な語句を、あとの語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

1880年代前半に時の大蔵卿(ア)による財政政策が展開されたが、その結果、デフレと不況が深まった。しかし、その後は、(イ)本位制の確立をうけて物価の安定、金利の低下による株式取引の活発化などで活況を呈した。そして、会社設立のブームが起こったが、金融機関の資金不足、前年の凶作と生糸輸出の半減もあって(ウ)年に恐慌が起こったため、挫折した。そのため、(エ)年に設立されていた中央銀行である日本銀行は、普通銀行を通じて産業界に資金を供給する態勢を整備した。

その後、日清戦争での勝利で日本円に換算して約(オ)億円あまりの賠償金を清国から得た日本は、戦後経営に着手し、軍備拡張とともに金融・貿易制度の整備にも着手した。(カ)年には、貨幣法の制定によって賠償金の一部を準備金とすることで(キ)本位制を採用し、貨幣価値の安定、貿易の振興を進めようとした。そして、外国為替のための特殊銀行である

(ク) 正金銀行が、積極的に貿易の金融にあたった。さらに、(ケ) 年に公布された造船奨励法・航海奨励法に象徴される海運業奨励政策によって、三菱系の運輸会社と半官半民の運輸会社が合併してできた(コ) などの船舶運輸会社が相次いで遠洋航路を開くにいたった。

[語群]

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 金 | ② 大阪 | ③ 1881 | ④ 1899 |
| ⑤ 1897 | ⑥ 神戸 | ⑦ 1892 | ⑧ 大隈重信 |
| ⑨ 2.5 | ⑩ 1883 | ⑪ 大阪商船 | ⑫ 銀 |
| ⑬ 1895 | ⑭ 土地 | ⑮ 東洋汽船 | ⑯ 1889 |
| ⑰ 1890 | ⑱ 1896 | ⑲ 松方正義 | ⑳ 横浜 |
| ㉑ 3.5 | ㉒ 共同運輸 | ㉓ 井上馨 | ㉔ 1898 |
| ㉕ 銅 | ㉖ ドル | ㉗ 1882 | ㉘ 1891 |
| ㉙ 東京 | ㉚ 日本郵船 | ㉛ 1.5 | ㉜ ポンド |

問2 次の文章の空欄(ア)～(シ)に当てはまるもっとも適切な語句を、あとの語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

日本は問1の過程の中、産業革命をなしたが、その中心は最初、綿糸を中心とする紡績業であった。(ア)年には、渋沢栄一たちが前年に設立した(イ)紡績会社が開業し、(ウ)が発明し、(エ)を中心に普及したガラ紡などの在来の綿糸生産は、機械制生産にとって代わられた。そして、(オ)年には綿布輸出額の輸入額超過、さらに世界最大の生糸の輸出国となった。

そして、鉄道業では、華族を中心に(カ)年に設立された日本鉄道会社の成功をうけて、鉄道会社設立のブームが起こり、東京・神戸間を結ぶ官営の東海道線が全通した(キ)年には、営業キロ数で民営鉄道が官営鉄道を上回った。しかし、(ク)内閣は(ケ)年、軍事的配慮もした結果、全国鉄道網の統一的管理を図る鉄道国有法を公布し、主要幹線の鉄道を買収し

た。そのため、これを契機に、営業キロ数で官営鉄道が民営鉄道を上回るに
いたった。

他方、政府は日清戦争後、軍備拡張を急ぐ中で官営軍事工場の拡充を進
め、さらに重工業の基礎となる鉄鋼の国産化をめざして、(コ)年には官
営の(サ)製鉄所を炭田がある九州の北部地域に設立した。この製鉄所は
(シ)年、操業を開始し、日露戦争のころには生産を本格化させた。

[語群]

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 三池 | ② 1907 | ③ 1897 | ④ 1890 |
| ⑤ 1889 | ⑥ 1900 | ⑦ 倉敷 | ⑧ 伊藤博文 |
| ⑨ 群馬県 | ⑩ 1883 | ⑪ 1899 | ⑫ 1884 |
| ⑬ 1905 | ⑭ 1885 | ⑮ 1902 | ⑯ 1909 |
| ⑰ 愛知県 | ⑱ 桂太郎 | ⑲ 1906 | ⑳ 1908 |
| ㉑ 菊池恭三 | ㉒ 東京 | ㉓ 1888 | ㉔ 臥雲辰致 |
| ㉕ 1880 | ㉖ 1881 | ㉗ 大分 | ㉘ 1882 |
| ㉙ 1901 | ㉚ 豊田佐吉 | ㉛ 八幡 | ㉜ 1903 |
| ㉝ 大阪 | ㉞ 1904 | ㉟ 山辺丈夫 | ㊱ 西園寺公望 |
| ㊲ 東洋 | ㊳ 1898 | ㊴ 京都府 | ㊵ 1886 |

